



有限会社 吉田工業

vol.22

2024年10月15日発行



吉田工業へようこそ

中途社員紹介

前職での経験

リペアの 仕事に 携わっていました！

自営で家具や住宅関係の修理に2年ほど従事していました。主な作業は、引越時に傷ついたフローリングの補修や破損した家具の修理です。それ以前は約20年間、ガスのパイプラインなどの配管工事に携わっていました。



入社決め手

前職での経験を 活かせると思った

自営業が軌道に乗らない時期があり、転職を考えるように。これまで培った経験を活かせる職種をと思い、配管工事の仕事を中心に就職活動を行いました。候補の会社は複数あったものの、すぐに採用の返事をいただいた吉田工業にお世話になることに決めました。



大内さんって
どんな方？

プロフィール 紹介

管工事課

おうちともあき

大内 寛哲さん

出身地／福島県大熊町

趣味／旅行

最近はなかなか行けていないので、機会があれば……！
印象的な旅先は静岡の下田です。

誕生日／1973年1月3日



吉田工業で大内さんが担っていること

配管工事の現場監督

2024年8月から、千葉の現場にて現場監督を任されています。メンバーは当社から4名と下請け会社から11名で計15名。初めての監督業務で不安なこともありましたが、元請け会社の監督や周囲の皆さんの支えもあり、どうにか務まっています。就任当初はパソコンも使えず、メール1通送るのに何時間もかかるという事態。それでも、様々な管理業務をこなさなければなりません。今でも苦労している部分ですが、少しずつスキルがついている実感もあります。

今後、もっと貢献したい部分

配管業務に 長く携わっていきたい

配管の仕事は、私がこれまでの経験を一番活かせる分野だと思っています。さらに技術を磨き、自分のことだけでなく、周囲を引っ張っていける存在になれるように頑張ります。

社員の皆さんへの メッセージ

これからもよろしく
お願いします！



吉田工業に仲間入りした新たなメンバーを紹介!

今回は管工事課の大内さんと放射線管理課の山崎さんです。経験豊富なお二人。前職での経験を存分に発揮し、当社の力になってくれること間違いなしです!

前職での経験

「調整力」には自信があります!

福島県の中間貯蔵施設で放射線管理の仕事をしていました。環境省や他企業など関係各所を繋ぎ調整を図る業務内容です。3年程度勤務しましたが、そのような経験を通じて「調整力」を身につけることができたと思っています。



山崎さんって
どんな方?

プロフィール 紹介

放射線管理課

やま ざき あきら

山崎 明さん

出身地/青森県八戸市

趣味/釣り

誕生日/1966年12月19日

入社の決め手

仕事熱心で 真面目な社風に 惹かれて……

前職で吉田工業のスタッフ数名と一緒に仕事をする機会がありました。急な頼みごとにもすぐ対応してくれるレスポンスの速さや、ルールをしっかり守ってくれる真面目で仕事熱心な方が多く、とても良い印象を持っていました。転職を考えるタイミングで、吉田工業でも放射線管理分野の仕事を広げていきたいという話を伺い、そこから興味を持ち紹介していただきました。

吉田工業で山崎さんが担っていること

新しく放射線管理の仕事を始めます!

建屋の新設工事でケーブルを配線するためのトレイを据え付ける仕事をしています。9月後半からは、同じ現場内で放射線管理関係の仕事を始めます。同じ現場ではありますが、新設工事の業者とは違った業者との仕事になり、私一人で担当する予定です。

社員の皆さんへのメッセージ

今まで放射線管理関係の仕事を主にしておりました。そのため工事関係や建設業界については知らないことがたくさんあり、ご教示いただければ幸いです。私個人の目標として、今回のように新しく放射線管理の分野の仕事を増やし、会社に貢献していきたいと思っています。これからもよろしくお願いたします!

3人のレンガ積み職人

～仕事への向き合い方を考える～

皆さんは普段どのように仕事に向き合っていますか? 様々なモチベーションを持って取り組まれていることでしょう。今回はそんな「仕事に対する意識」について、「3人のレンガ積み職人」という物語から考察していきたいと思います。

旅人が道を歩いていると、レンガを積んでいる3人の職人に出会い、それぞれに「ここで何をしていますのですか?」と尋ねました。

1人目は「レンガを積んでいるのさ」と答え、辛くて不公平だと考えていました。

2人目は「大きな壁を作っているのさ」と答え、家族を養うために仕事があることに感謝していました。

3人目は「歴史に残る偉大な教会を作っているのさ」と答え、教会の完成をイメージし、そこに訪れる人々の幸せまで考えていました。



さて、皆さんはこの物語を読んで、どう思われましたか? 3人の仕事に対する向き合い方が違うということは容易に見て取れるのではないのでしょうか。

それでは早速、それぞれの「レンガ積み」に対する態度を考察してみましょう。まず、1人目はいやいやこの作業をしています。2人目は身近な人に対する責任感と義務感をもとに仕事をしています。3人目はいつの日かここに集う人たちに対する希望と、自分の行っていることに対する誇りを持ちあわせています。

同じことをしているにもかかわらず、この3人の違いは何でしょうか。それは、「目的意識」の差です。「ただレンガを積んでいる」と、「偉大な教会を作るためにレンガを積んでいる」では完成に大きな違いが生じるのは一目瞭然です。

皆さんは普段どのような意識で仕事に向き合っていますか? 人生における、仕事をしている時間というのは非常に長いです。1人目のように、辛いと思いつながら仕事をしているのは非常にもったいないことではないのでしょうか。それでは2人目はどうでしょう。このタイプに当てはまる人が最も多いと推察されます。実際に、家族や自分の夢をモチベーションにしているのは、素晴らしいことです。それでも、1度立ち止まって考えてみてください。それ「だけ」ではやはり2人目のように「やらなければいけない」という考えに縛られたままではないですか?

あなたの手がける「いつもの」仕事は、会社を育て、またお客様やそのまたお客様、この社会に生きる人全ての笑顔につながっているかもしれません。その誇りを持って胸を張れば、背筋が「ピン」と伸びることでしょう。

今までのモチベーションを大切に、その上で仕事に対する「目的」と「誇り」を併せ持てれば、今まで見えなかった新たな楽しみが生まれるかもしれませんし、仕事の完成度も変わってくるかもしれませんね!

事業部紹介

～人事部を直撃！～

2025年100人雇用を目指し、人事部が新たに立ち上がりました。来春入社に向けて動き始めたばかりの新卒採用活動。求職者の皆さんに伝えたい「吉田工業の魅力」とは？当社採用活動をサポートしてくださっている鈴原さんに伺いました！



採用担当としてのやりがい

「会社の活性化」と「生き生きと熱を持って働く社員」の両輪がうまく回ること！

私自身は業務委託のため社外勤務となりますが、新しく入社された方が、良い刺激となり会社全体に新しい風を吹かせるような存在になっている様子を見ることにやりがいを感じています。求職者の方と会社の良い架け橋になれるよう、あらゆる側面からサポートしていきたいと思っています。



吉田工業の魅力

創業50年の技術力と教育体制の両方が兼ね備わっている

吉田工業は火力発電所、原子力発電所における機械設備の建設・点検・メンテナンスをトータルプロデュースしており、その技術力は大変貴重です。特に高い技術力とノウハウが必要になる、発電所の主要機器である「タービン」という設備や発電機のメンテナンス技術を求め、全国各地の発電所から依頼がきています。こちらは非常に緻密な作業となり、今後さらにA | 技術が発達したとしても、**人にしかできない、一生必要とされる技術であり、吉田工業はこのような専門性の高い技術力を持った職人集団**です。また、新入社員研修や入社後フォロー研修が整っており、入社すると誰もがプロフェッショナルな職人を目指すことができることも魅力。今後、社員が増員することを見込み、**年齢の近い社員がサポートにつく「メンター制度」や、個々の目標に合った技術取得のプラン、キャリアアップ支援なども整備中**です。豊富な経験を持つ伝承者と新しく技術を学ぶ継承者がともに成長する環境作りは今、取り組んでいます。



人事部
すずはら ひろこ
鈴原 寛子さん



今後の課題

人事部は動き始めたばかり！皆さんのご協力をよろしくお願いします！

採用活動は、人事採用担当だけが頑張るだけでは、うまくいきません。現場の協力が不可欠です。例えば、「どのような仲間に加わってほしいか」を知るための現場の声や、会社の魅力や改善点について話し合う積極的な姿勢、新しい仲間を迎え入れる職場の雰囲気作り、リファラル採用の活用など、社員全体が採用に対して少し意識を向けることで、採用力は格段に上がります。まだ人事部としての活動は始まったばかりですが、次なる成長の足がかりとなるよう、取り組んでまいります！

ミニコラム



コラム1

新しい福利厚生制度ができました！ どんどん活用してください

2024年9月、社員の皆さんの意見を反映し「帰省費補助」という新しい制度が誕生しました。お盆休暇、年末年始休暇のいずれか1回利用可能な制度となっており、最大5万円の補助を受けることができます。もう一つ「**転居費用補助**」、こちらは最大10万円、いわき市外から転居して来られる方の引っ越し費用の一部を負担する制度です。

※詳細は賃金規定参照

コラム2

リファラル採用強化中！お祝い金あります！

ご友人やご親戚など身近に求人者の方がいらっしゃいましたら、ぜひ吉田工業をご紹介ください！会社案内のパンフレットがご入用の方は、人事部にご連絡ください。

コラム3

インスタグラムで吉田工業のアレコレ配信中！

会社のイベントの様子や、採用情報、研修レポートなど、吉田工業の「今」を随時配信中です。ぜひフォロー＆シェア拡散のご協力をお願いします。

＼教え上手の〇〇さんから学ぶ!／



後輩の育て方

教育担当になったものの、しっかり教えられるか不安……。

そう感じている方はいませんか?今回は「教え上手な先輩」について、現在は自身も先輩として活躍している則次さんからご紹介いただきます。「後輩の気持ちがわからない!」「先輩としてどう振る舞うのが正解かわからない!」という方は必見です。



工事一課
のりつぎ まこと
則次 真さん

私が思う
「教え上手な先輩!」

後輩の「できた」まで、手取り足取り指導!
当時の吉田 村男社長
(現:吉田 村男会長)

約20年前、吉田会長がまだ現場で仕事をしていた頃によくお世話になっていました。現場によって機械の種類が変わる中、「こうやるんだよ」と実際に手本を見せながら教えてくれた吉田会長。さらに教えたら終わりではなく、私がしっかりできるか確認もしてくれるため、初めての作業も安心して取り組みました。吉田会長が去り際に言う「しっかり覚えろよ!」の一言も、「頑張れよ!」と応援されているようで嬉しかったこ

とを覚えています。吉田会長にお世話になる前は、「ザ・昭和の頑固おやじ」な父親と一緒に仕事をしていたので、余計にありがたく感じたのかもしれません(笑)



自分が教える側に立って、気をつけていること

1 ピンチを未然に防ぐこと

1つ目は、若手のケガ対策です。機械相手の私たちの仕事は、経験がないとケガをする可能性が圧倒的に高まります。例えばスパナボルトを緩める作業。「ボルトを外すだけなら簡単」と目いっぱい力を入れて回すと、ボルトが外れた反動で体がふっ飛ぶことも。そのため**どれほど簡単な作業でも、「力を入れすぎないようにね」「手に気をつけてね」**など、30分に1回は声かけをしたり、場合によっては作業を交代したりして気を配っています。



また広い敷地の現場では、迷子になる若手社員もちらほら。迷子を出さないために、広い敷地の場合は作業前の「現場巡りツアー」もするようにしています。現場を巡りながら「**ここではこれをするからね**」と大雑把にでも説明しておく、道を覚えるのが不得意な人も少しはマシになるかと。

2 誰かに教えるためには、自分が理解しておくことが大切

2つ目は、自分自身が現場の予習をしっかり行うことです。現場に初めて入る若手は、基本的に図面を見てもわからないことがほとんど。その分私が現場を把握する必要があるため、朝礼前に図面を見たり、機械の位置を把握したりと情報を頭に叩き込むようにしています。また現



場の特徴をメモに残しておくことも大切。**地面の傾斜や機械の特徴は現場によって全く異なるため、メモ書きで残しておく**と、次にまたその現場に行ったときに役立つのです。メモが増えるほど間違いは減り現場がスムーズに進むため、後輩の面倒も見やすくなります。

後輩が伸びるための教え方

悩みも疑問も受け入れ、後輩の可能性を広げる

最も大切なのは、後輩が聞きやすい雰囲気を作ることだと思います。吉田会長に教わっていたときのことを思い出すと、その大切さがよくわかります。「あれをやれ、これをやれ」と指示するのではなく同じ目線で後輩と向き合い、たとえ同じ質問をしたとしても丁寧に対応してくれた

吉田会長。「同じ質問は言語道断!」という父親には聞けないことも吉田会長には聞けたので、私自身以前より前向きに仕事に取り組めるようになりました。先輩に必要なのは、そういった後輩の悩みや疑問を受け入れる「器の広さ」なのではないでしょうか。



